

# 令和8年度 業務概要



小岳山頂から（令和7年7月撮影）

**東北森林管理局**  
**藤里森林生態系保全センター**

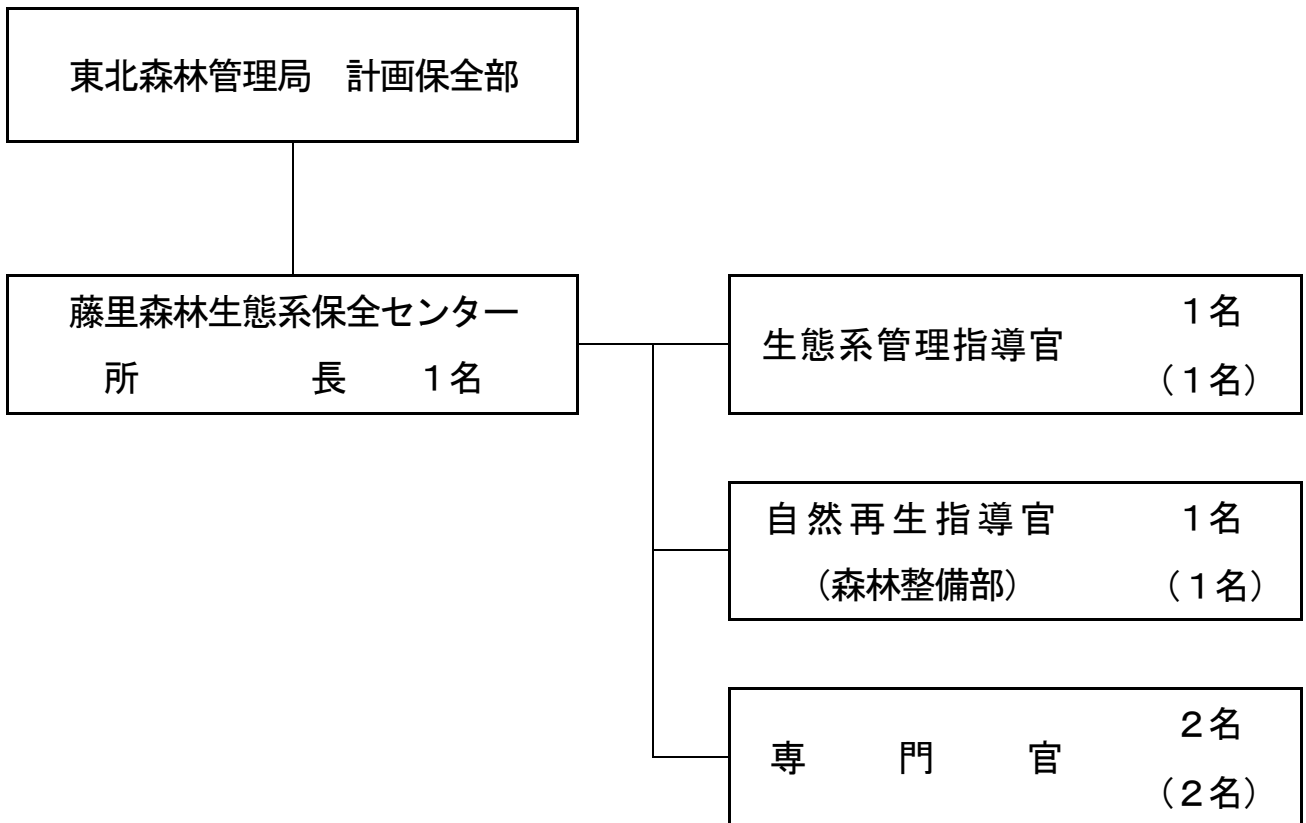
TEL 0185-79-1003

E-mail [t\\_fujisato@rinya.maff.go.jp](mailto:t_fujisato@rinya.maff.go.jp)

HP <http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/index.html>

# 組 織 図

(令和8年4月1日現在)



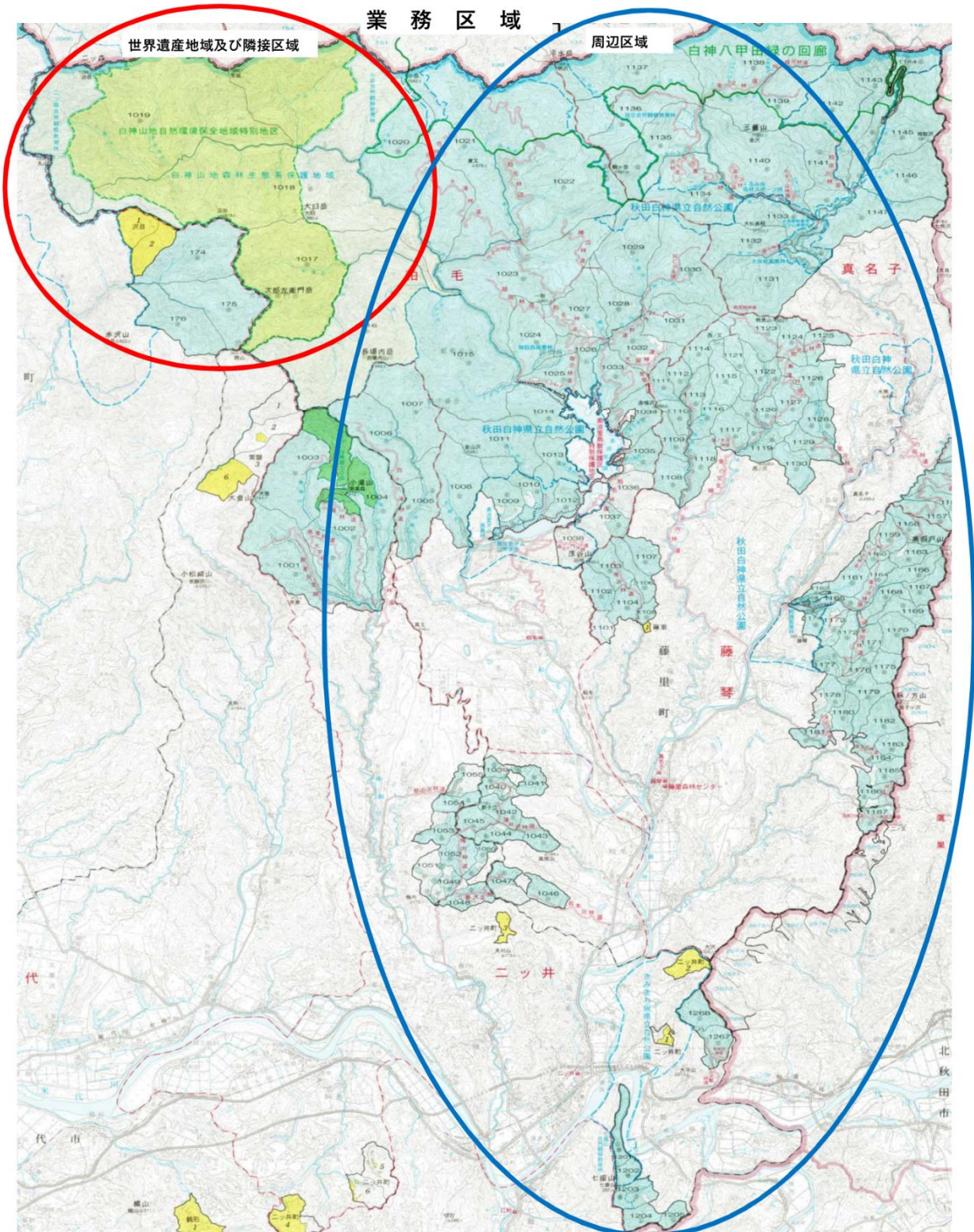
職員合計 5名

※ ( ) は定員数

# 業務対象地域の紹介

## 1 業務対象区域

白神山地森林生態系保護地域【白神山地世界遺産地域（以下「遺産地域」という。）】及び同周辺地域を業務対象区域としています。（能代市・八峰町・藤里町）



## 2 業務対象区域の保護林、レクリエーションの森等

### (1) 保護林

◎白神山地森林生態系保護地域（遺産地域）16,971ha（うち秋田県側 4,344ha）



小岳山頂付近から核心地域



核心地域のブナ林

#### <参考>

「白神八甲田緑の回廊」は、保護林同士を連結して、連続した自然林を回復することにより、本来生息・生育する野生動植物の広域的なつながりを確保し、分断された個体群の相互交流、生物多様性の保全に資することを目指しています。白神山地森林生態系保護地域から、青森県と秋田県境の分水嶺沿いに約2kmの幅で十和田湖周辺まで、津軽署・三八上北署・米代東部署・米代西部署にまたがり設定し、面積は約22,000ha、そのうち保護林が約18,000ha、米代西部署管内は12,504haが指定されています。

### (2) レクリエーションの森(レク森) 等

#### ① レク森

面積：ha

自然観察教育林		森林スポーツ林		風致探勝林	
名称	面積	名称	面積	名称	面積
だけたい 岳 岱	11.78	くるみ台	4.22	がろう 峨 籠	17.23
ニツ森	334.35	—		だいらきょう 太良峡	51.31
小岳	281.15	—		—	
ななくらさん 七座山	98.50	—		—	



岳岱自然観察教育林



多目的展示施設

藤里森林生態系保全センターでは、岳岱自然観察教育林の多目的展示施設の維持管理を行っています。施設内には、休憩や昼食等で使用できるよう丸太イスとスギのテーブル、岳岱自然観察教育林の案内図、パンフレット、岳岱及び白神山地のジオラマ等を設置し紹介するとともに、スケッチブックや雑記帳を置いて、訪問者が自由に思い出や感想、意見が記帳出来るようにしています。記帳内容については、巡視の際に確認し、皆様のご意見やご感想を業務の参考とさせていただきます。

## ② 県立自然公園

### ア 秋田白神県立自然公園

県立自然公園の再編により平成16年8月に指定。従来から指定されていたきみまち阪県立自然公園と八森岩館県立自然公園の一部を分割して設定されました。

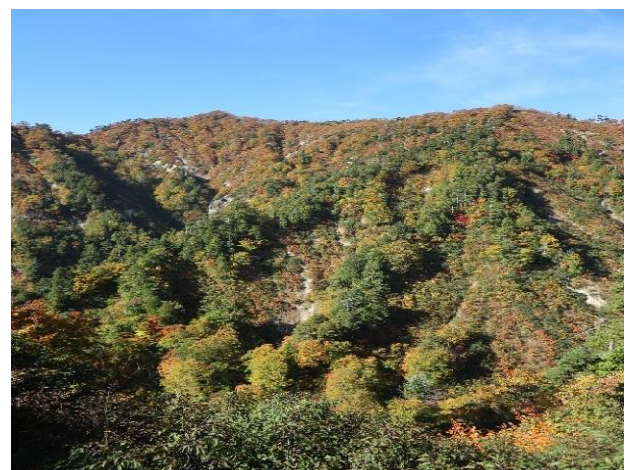
藤里町では小岳、藤里駒ヶ岳、田苗代湿原、峨籠大滝、太良峡、釣瓶落峠、素波里湖が含まれ、八峰町には真瀬岳、水沢山、真瀬溪谷などが含まれます。

### イ きみまち阪県立自然公園

昭和39年7月に指定。きみまち阪を中心とする一帯599haが指定されています。七座山自然観察教育林も含まれます。



田苗代湿原



釣瓶落峠

# 業務内容の紹介

## 1 白神山地世界遺産地域及び周辺に関する業務

### (1) 巡視活動

藤里森林生態系保全センターの職員による巡視活動は、遺産地域とその周辺の動植物など自然環境の把握を中心に行っていますが、ナラ枯れ等の森林病虫害による被害状況の確認についても巡視活動を通じて行っています。また、巡視の際は、登山者等へ入山におけるの注意事項などを指導し、遺産地域の保護意識の普及啓発に努めています。

巡視にあたっては、職員のほか、民間ボランティアとして「白神山地世界遺産地域巡視員」を東北森林管理局長が委嘱し巡視活動を実施していただいています。

### ① 合同パトロール

白神山地世界遺産地域連絡会議構成機関の職員及び各構成機関で委嘱等をしている巡視員の方々により、登山者等に対する入山ルールへの啓発指導、違法行為や標識類の状況を確認するため、合同パトロールを実施しています。



登山者啓発活動（小岳山頂付近）



合同パトロール（粕毛川）

### ② 巡視管理棟の保守管理

白神山地世界遺産地域巡視員（ボランティア）の方々などの巡視の拠点や、登山者の休憩施設などとして活用してもらうため設置した巡視管理棟（小岳、水沢、ニツ森）の保守点検（施設の異常の有無の点検、ボルトの締め付け、雑記帳の点検、清掃、備付用具類の点検など）を行っています。

また、積雪により窓ガラス等が損傷しないよう、晩秋には雪囲いを行い、翌年春に開放しています。

注：令和5年7月豪雨災害により、水沢には現在アクセスできません。



小岳巡視管理棟

### ③ 白神山地世界遺産地域巡視員会議の開催

東北森林管理局では、巡視員及び環境省や県、地元市町等と連携を図りながら、地域と一体となった巡視活動を展開し、遺産地域の保安全管理に努めています。こうした巡視活動等における意見・情報交換を行い、今後の巡視活動に役立たせるため、年2回、巡視員会議を実施しています。



令和7年度巡視員会議（令和7年6月）

## (2) 各種調査等

### ① 原始的ブナ林の長期変動調査

遺産地域のブナ林内に固定調査区を選定し、寒冷・多雪な気候下にある原始的なブナ林の長期的な変動を明らかにするため、また、自然環境の変化等を的確に察知し遺産地域の順応的管理に資する観点から基礎データの収集を行うため、モニタリング調査を毎年実施しています。

### ② 垂直分布の植生モニタリング調査

遺産地域内及び周辺部の植生の垂直分布の状態を定期的（5～10年ごと）に調査・分析し、遺産地域の順応的管理に資することを目的としており、所定の箇所に設定した標高別の永久プロットにおいて、植生調査を行い調査結果を取りまとめ、植生分布の特徴や植生動態について分析・評価するとともに、平成25年度からの植生変化を評価しています。

### ③ 中・大型哺乳類調査

白神山地世界遺産地域連絡会議で策定された「白神山地世界遺産地域モニタリング計画」に基づき、「ブナ林における動植物の多様性が適切に保護されていること」をモニタリングするため、遺産地域の周辺地域において、中・大型哺乳類の生息状況把握のセンサーカメラによる定点調査を実施しています。この調査では、遺産地域周辺で森林生態系に大きな影響を及ぼす可能性があるニホンジカを目撃情報が相次いだことから、平成26年度からニホンジカの生息状況についても併せて調査しています。

また、冬期間においては、ニホンジカの越冬地調査のためセンサーカメラを国有林に2台、民有林には八峰町との連携により4台設置し越冬状況の調査をしています。得られたデータは、白神山地世界遺産地域科学委員会に提供するなど、今後のニホンジカ対策に役立てます。



ニホンジカ（令和7年6月）



ツキノワグマ（令和7年7月）

#### ④ モニタリング調査の実施（田苗代湿原）

田苗代湿原は、春はミズバショウ、夏はニッコウキスゲが咲き乱れる美しい湿原ですが、乾燥化による植生の遷移を把握するため、地上からと、ドローンを使用して上空からも定点撮影を実施しています。



ドローンによる第2湿原（令和6年6月）



ドローンによる第2湿原（令和7年6月）

#### ⑤ マツノクロホシハバチによる食害調査

世界遺産緩衝地域に隣接する小岳には、通常より標高の低い位置に自生している貴重なハイマツ林の植生があり、過去にマツノクロホシハバチによる食害が発生したことから毎年、被害の調査を行っています。令和7年度は登山道沿いのハイマツ1本の枝に、マツノクロホシハバチの幼虫が確認されました。枝の先端部分の葉に20匹ほどが寄生し、一部は枯れていましたが食害は先端のみにとどまっており、周囲のハイマツや群落全体に影響を及ぼすものではありませんでした。



食害を確認（令和7年10月）



ハイマツの群生（令和7年10月）

## 2 森林環境教育

### ① 森林環境教育の支援

白神山地の生態系保護や森林・林業の普及啓発を図るため、地方公共団体及び教育機関等からの要請を受け、藤里森林生態系保全センター研修棟での展示室や実習室を活用した森林教室や木エクラフト、岳岱自然観察教育林等での自然観察会など森林環境教育を支援しています。

<令和7年度実績>

実施内容	対象者	人数	実施場所
白神山地の保全管理	藤里学園7年生ほか	14	藤里森林生態系保全センター研修棟
白神プロジェクト招へい講座	能代高校二ツ井キャンパス 全校生ほか	100	能代高校二ツ井キャンパス
植樹体験	能代高校二ツ井キャンパス 1・3年生ほか	46	藤里町内粕毛地区
インターンシップ	能代高校2年生	1	藤里森林生態系保全センター研修棟ほか
探究活動	能代高校1年生	1	藤里森林生態系保全センター研修棟
ブナ林モニタリング調査	藤里学園8年生ほか	9	藤里町岳岱
パネル展示、缶バッチ製作	藤里町民ほか	—	藤里町体育館



白神プロジェクト招へい講座（令和7年5月）



能代高校生インターンシップ（令和7年7月）

## ② 藤里森林生態系保全センター研修棟の紹介

### ア 展示室

展示室では、白神山地の紹介や森林環境教育を目的として、樹木の標本や写真で見る草花、昔の林業風景、センサーカメラで撮影された動物たちなど、多岐にわたる写真を展示しています。

園児から大人まで、目的とテーマに対応した森林環境教育が可能となっています。

### イ 実習室

実習室では、木エクラフト体験が出来るように工具類やクラフト材料を用意しています。材料は小枝や、枝の輪切り、ホオノキの実、松ぼっくりなどのほか、飾り付け用の小物も用意しています。

また、森林環境教育の思い出として缶バッチの作成もできます。



展示室



さまざまな木の標本



実習室



センサーカメラに写った動物たち

### 3 広報活動

藤里森林生態系保全センターの業務紹介のほか、巡視員やガイド協会等からの寄稿により、広報誌「白神通」を発行しています。また、藤里森林生態系保全センターWebサイトでも、業務紹介や白神山地に関する情報やお知らせ、「白神通」の掲載など情報発信に努めています。

URL <http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/>

# 白神通



藤里点描

#### [contents]

- ◆ 岳岱自然観察教育林 2025 秋・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
- ◆ 小岳山頂直下でのハバチ類の調査・・・・・・・・・・・・・・ P4
- ◆ 藤里学園 1 年生校外学習の受け入れ・・・・・・・・・・・・・・ P6
- ◆ 藤里町民祭 2025 への出展・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8
- ◆ 藤里学園 8 年生による プナ林モニタリング・・・・・・・・・・ P11
- ◆ 岳岱自然観察教育林 冬ごもりへ・・・・・・・・・・・・・・ P12
- ◆ 白神山地世界遺産地域 巡視員会議（秋田県側）・・・・・・ P15

藤里森林生態系保全センター 令和 8 年 3 月 27 日 No.113

No.113 号表紙（令和 8 年 3 月 27 日号）

### 藤里学園 8 年生による プナ林モニタリング

藤里町立義務教育学校藤里学園の生徒が白神山地について学ぶ「藤里町プナ林モニタリングプロジェクト」の現地調査が 10 月 29 日（水）、岳岱のプナ林で行われ、8 年生 9 人がプナなど樹木の幹回りや状態を調査しました。

調査には本プロジェクトの講師「国立研究開発法人 森林研究・整備機構」の中静先生のほか、当センターから 3 名、環境省 4 名、藤里町役場 3 名などが参加しました。

当日は寒波により季節外れの雪が降り、調査の実施が危ぶまれましたが、30 分ほど遅れての開始となりました。はじめに、中静先生よりプロット内の立木の樹種の見分け方や、幹回りを測る際の注意事項などについて説明がありました。

その後、生徒 1～2 人に職員ら 2 人が加わり、5 つの班に分かれて班ごとに振り分けられたプロット内の区画で調査が始まりました。生徒は調査する区画に移動して、調査番号の立木を探し、樹種と状態を確認してから幹回りを計測していました。幹回りを測る担当、野帳に書き込む担当を決めて役割分担し、調査木を皆で協力し合いながら探したため 1 本 1 本スムーズに調査が進められました。



中静先生（中央左）による調査内容の説明



職員で役割分担しながら調査

プロット内の立木はほとんどがプナですが、それ以外の樹種もわずかに生育しています。サポートしているはずの大人の方が「何の木だろう...」と思っている間に生徒たちが「これホオノキだ！」と即答する場面もありました。子供たちの吸収力に脱帽です…。

調査後、プロット内のプナを教材として「プナ林の更新」について、中静先生から「巨木が倒れ、林床の小さなプナが育ち、プナ林が世代交代していく過程には数百年単位の時間がかかる」などの説明があり、生徒たちは驚いた声を上げていました。また職員も、ホオノキの種子について先生から解説し

No.113 号掲載記事（令和 8 年 3 月 27 日号）

森林管理局 文字サイズ 標準

キーワードから探す  Google 検索

[森林管理局へようこそ](#)
[報道・広報](#)
[森林管理局の仕事](#)
[公表・入札情報等](#)
[リンク集](#)

> [森林管理署等の所在について](#) > [藤里森林生態系保全センター](#)

森林生態系保全センター



#### 業務紹介

- ◆ センター概要
- ◆ [【詳細版】令和7年度業務概要.pdf\(PDF:5.624KB\)](#)
- ◆ [広報誌「白神通」\(令和7年9月30日更新\)](#) New!
- ◆ [中・大型哺乳類モニタリング調査](#)
- ◆ [センサーカメラに写った動物たち](#)
- ◆ [白神山地世界遺産地域合同パトロール](#)（秋田県側）
- ◆ [白神山地巡視記録](#)
- ◆ [巡視中に会った生き物たち](#)
- ◆ [森林環境教育の支援](#)
  - ◆ [森林環境教育の支援の取組紹介](#)
  - ◆ [木工クラフトがしたい!](#)
- ◆ [GO to 展示室](#)

東北森林管理局

[森林管理局へようこそ](#)
[報道・広報](#)
[森林管理局の仕事](#)
[公表・入札情報等](#)
[リンク集](#)

ホーム > [森林管理署等の所在について](#) > [藤里森林生態系保全センターセンサーカメラに写った動物たち](#)

センサーカメラに写った動物たち

藤里森林生態系保全センターでは、白神山地森林生態系保護地域及び周辺地域の安全管理の一環として哺乳類のモニタリング調査のため、藤里町や八幡町等の国有林にセンサーカメラを30カ所取り付けて自動撮影をしています。以下センサーカメラに写った哺乳類を多数の画像で紹介いたします。

モニタリング調査の報告はこちら→ [大型哺乳類モニタリング調査](#)

#### ホンドタヌキ

- ・体長50～70cm、体重3～9kg、寿命5～8年。
- ・タヌキの中間は東アジアに分布していて、日本には北海道に生息するエゾタヌキと青森以南に生息するホンドタヌキの2種がいる。
- ・夏毛の時はやせて見えるが、冬毛の時は肥満などに見えるように太って見える。
- ・主に夜行性で行動しており、雑食性で果実、木の実、昆虫、カエルなどを食べる。
- ・撃たれると形などから「死なぬ侵入り」をする。
- ・別名はむじなと呼ばれ、目方で穴を掘れないためアナグマの巣を使うことから、「同じ穴のむじな」とことわざができた。



#### ハクビシン

- ・体長約50cm、体重約4kg。
- ・長い吻末端が舌か議論があったが、DNA分析の結果、台湾から日本に来たことが判明した。

<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/zyouhou220624.html>

1/14

Webサイトトップページ

Webサイトページ一例

# 組織の経緯

昭和 4年 5月	荷上場営林署から分割、藤琴営林署設置。
昭和31年 6月	藤里営林署に改称。
昭和50年代後半	春秋林道建設反対運動起こる。
平成 2年 3月	白神山地森林生態系保護地域を設定。
平成 5年12月	世界遺産委員会が白神山地を世界遺産に登録決定。
平成 7年 3月	藤里営林署と二ツ井営林署を統合し二ツ井営林署。 秋田営林局指導普及課の内部組織として藤里森林センターを設置。 庁舎は、旧藤里営林署庁舎を使用。
平成 8年11月	小岳に巡視棟が完成。
平成 9年 4月	藤里森林センターの一般会計移替。
平成 9年11月	水沢に巡視棟が完成。
平成10年11月	二ツ森に巡視棟が完成。
平成11年 3月	秋田営林局が東北森林管理局に組織再編。 能代営林署、二ツ井営林署、五城目営林署を米代西部森林管理署に組織再編し、 二ツ井事務所、五城目事務所を設置。
平成13年 8月	二ツ井事務所・五城目事務所の廃止。
平成13年12月	藤里森林センター事務所棟の新築移転。
平成14年12月	事務所棟の隣に研修棟を新築。
平成15年12月	岳岱自然観察教育林の歩道整備と多目的展示施設を設置。
平成25年 4月	組織再編に伴い、藤里森林生態系保全センターに名称変更。



藤里森林生態系保全センター  
Web サイトトップページ  
QR コードはコチラ ↓



東北森林管理局広報  
「みどりの東北」  
QR コードはコチラ ↓



東北森林管理局  
ホームページ  
QR コードはコチラ ↓

